

アカゲラ通信



イソヒヨドリに注目！

イソヒヨドリ *Monticola solitarius* はスズメ目ヒタキ科ツグミ亜科、全長 23cm、ムクドリくらいい。北海道では4月に渡来し10月までに南に移動する夏鳥、本州以南で留鳥。

その名の通り元々磯＝岩礁海岸で生活、漁港には来ますが砂浜には来ません。

内陸部でもダム湖周辺や鉱山周辺には以前からいましたが、2000年以降本州では、神奈川県相模原市や大阪府泉佐野市等各地で住宅地にも進出し、街中でも見られる鳥になってきています。

旭山では2024年6月1日時点で観察記録はありません。春と秋の移動時に立ち寄る可能性はありますが、旭山周辺にすみつくようなことは現時点では考えにくいです。また、北海道では内陸部の住宅地で見られているという情報は今のところないようです。

英語で”Blue Rock Thrush”＝青い岩場のツグミ、海外では主に高山の岩場に生息する野鳥とのことです、日本国内では高山帯には生息していないようです。

●雄（右写真上）は腹部が濃いオレンジ色それ以外は青色。雌（右写真中）は全身青みがかった灰色に鱗のような模様が入っています。

雄は「ヒーヒヨロロー」と体に似合わず（！？）か細いきれいな声で囁り、ビルの屋上で囁りすることもあります。夜にもよく囁ります。人に対する警戒心は薄い方です。

ヒヨドリ科ではないものの、イソ「ヒヨドリ」という名前は言ひえて妙な感じもします。人間の居住地に進出してきたのもヒヨドリと似ているし、雌はヒヨドリに似てなくもないし。

●イソヒヨドリを見に行きたい方へ、道内で見られる主な場所

- ・函館西部地区
- ・寿都町弁慶岬－弁慶像の頭に白い糞がついている
- ・小樽市内 JRより海側－運河周辺の街中にもいる
- ・積丹半島の岩礁海岸各所－古平町セタカムイ岩（右写真下）等
- ・島牧村役場付近
- ・様似町幌満川下流部
- ・斜里町オシンコシンの滝の他、岩礁海岸で見られる可能性は高そうです。



北海道内で生息地が広がり数が増えるのか、内陸のダム湖はどうなのか、海外のように高山に進出するのか、住宅地に進出するのかなど、北海道で今後注目してみたい野鳥としてここで取り上げました。

今までのところインスタグラムでも道内ではそれほど上がっていませんが、そのうちオオルリ、コルリ、ルリビタキとともに「4大青い鳥」として人気が高まるかもしれません（どうかな・・・）

今年はぜひイソヒヨドリを見に行ってみてはいかがですか！



レストハウス「ぽるく」2024年6月

旭山記念公園レストハウス【ぽるく】です

フォトコンテスト多数のご応募ありがとうございました。今年も素敵な作品がたくさん届きました。

選考の結果、ただいま【ぽるく】内にて20作品を展示しています

6月9日まで投票受け付けておりますので是非ご覧いただき、投票よろしくお願いします。

投票後には美味しいソフトクリームなどはいかがでしょうか！



旭山の樹木メモ① ミズキ

ミズキ Giant Dogwood *Cornus controversa Hemsley* ミズキ目ミズキ科

5月下旬、旭山記念公園ではミズキの花が満開(写真上)に。今年は、へえこんなところにもあったんだというくらい、園内でミズキの花をたくさん見た。しかもみな若くてまだそれほど高くない木で、この先が楽しみ。

ミズキはミズキ科の落葉高木。葉は全縁(写真下右)。北海道から九州まで分布。同科にハナミズキ、「学びの森」に植栽の白い花が咲くヤマボウシ、旭岳等高山で見られる草本ゴゼンタチバナや円山に多いウリノキがある。

漢字では「水木」、春先に木を切ると大量の樹液が出ることに由来。

旭山でミズキが増えたのは野鳥のおかげ。

ミズキは夏に小さな黒い実がなるが(写真下左)、この実は野鳥が好んで食べる果実Top3に入るほどだという。昨年もメジロが盛んに食べていた。

実の中の種子は消化されることなく、食べた鳥が移動した先で糞と一緒に排出、そこから芽が出て育つ。このようなかたちで種子が広がっていくものを鳥散布型という。旭山では高木はあまりないのに稚樹幼木がやたら多いのは、そのようなわけ。

赤く上向きに伸びる枝は縁起がいいとして正月の飾りに使われる、昔から身近な樹木だ。



2024年6月の野鳥トピックス

旭山記念公園ではシマエナガをはじめ野鳥の巣の情報は公開していません(ハシブトガラスを除く)

- シマエナガ：園内でときどき見られています
- オオルリ：5月前半よく見られていましたが今はひと段落です
- キビタキ：園内で5月後半から囀りがよく聞かれています
- 旭山都市環境林にクマゲラの鳴きまねをする個体もいました
- ウグイス(写真)：今年は園内で囀りが聞かれる場所が多く、森の家周辺の個体は木にとまって鳴く姿がよく見られていました
- シジュウカラ：1回目の幼鳥が見られるようになりました
- クマゲラ：園内に時々やって来ています
- アオバト：5/16 今年初認、例年6月に入ると桜の実を食べに寄ってきて観察機会が多くなります



旭山生き物ミニ図鑑2024年6月



クマゲラ♀



ニホンカナヘビ顔のアップ



6月によく見るジョウカイボン



旭山初記録の蛾コトラガ



旭山記念公園で今年は多く見られた花シリーズ：(左から) ギンラン オククルマムグラ オオハナウド ヘビイチゴ



「アカゲラ通信」 第128号 2024(令和6)年6月5日発行
(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所
<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目
電話 011-200-0311 (金・土・日・祝日 10時~16時) FAX 011-200-0351